



◆ 備蓄品より大切なトイレの作り方

地震により自宅の下水管が壊れたり、外では液状化による下水道管自体が機能しなくなる可能性があり、トイレが使えなくなります。また、避難所でも同様に使用不可になり、清潔さが保たれず不潔になり、感染症など他の病気の原因になります。簡易トイレの作り方を理解しておきましょう。



① 間違って流すことが無いように、排水レバーをガムテープで止めます



② 便座を上げて大きなポリ袋を便器に入れます



③ そのまま便器を覆い下をガムテープで固定します



④ その上から黒いビニール袋をかぶせます
※説明しやすいように色を分けてますが、同じ色でも大丈夫です



⑤

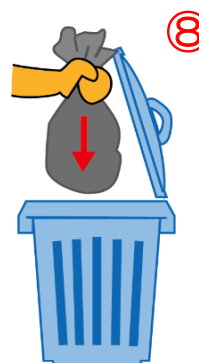


⑥

便座を下ろして用を足します
黒いゴミ袋の中に
・細かく切った新聞紙
・ポリマーシート
・ペット用トイレシート
などを入れておくか
用を足した後に
・凝固剤
などを使用する方法もあります



⑦ 黒いポリ袋を取り出し、空気を抜いて口を強くしばります



⑧ ふたのある容器に保管します

ごみ収集が始まったら燃えるゴミとして出します



トイレと一緒に備えておきたい備品

※もし避難所に無ければ、自宅の備蓄品を持ち寄れば大丈夫です

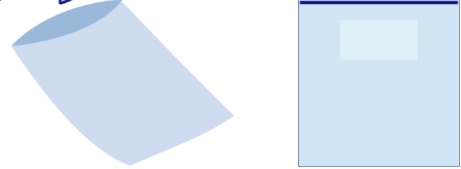
・トイレトーパー

1人当たり1ロール/週間が消費の目安です



・45リットルのポリ袋

便器にかぶせるポリ袋は、自分で備えておくように



・ランタン/ヘッドライト

停電で暗いと見えづらくてトイレに失敗したら掃除する水も手に入りにくいので大変です。
両手を空けるためにも必要です。

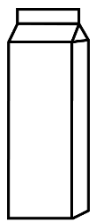


・ウエットティッシュ /ペーパータオル

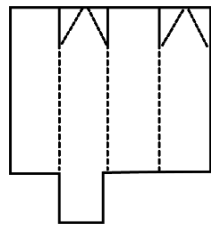
断水していることも多いので用を足したあとに手をふくのに使います



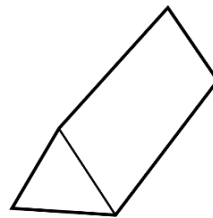
牛乳パックで作る簡易トイレ



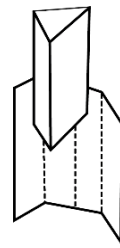
牛乳パックを用意します



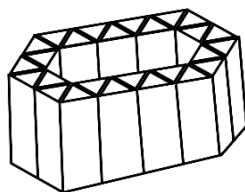
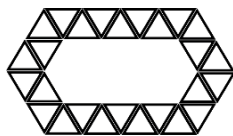
牛乳パックを開きます



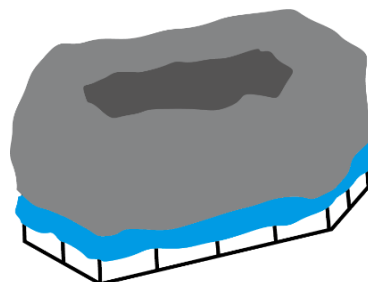
三角柱になるように折ります



二重に補強します



沢山の三角柱を上図のように並べます
※上図は26個





◆ 備蓄品より大切なトイレの作り方

地震により自宅の下水管が壊れたり、外では液状化による下水道管自体が機能しなくなる可能性があり、トイレが使えなくなります。また、避難所でも同様に使用不可になり、清潔さが保たれず不潔になり、感染症など他の病気の原因になります。簡易トイレの作り方を理解しておきましょう。



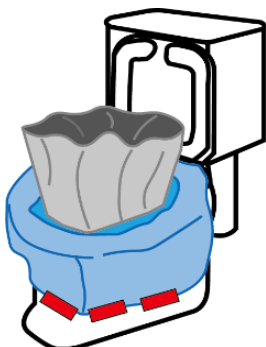
- ① 間違って流すことが無いように、排水レバーをガムテープで止めます



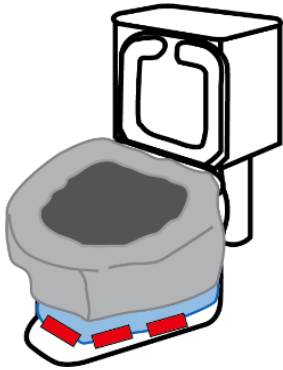
- ② 便座を上げて大きなポリ袋を便器に入れます



- ③ そのまま便器を覆い下をガムテープで固定します



- ④ その上から黒いビニール袋をかぶせます
※青いビニール袋より少し小さめの大きさでも大丈夫です
※説明しやすいように色を分けてますが、同じ色でも大丈夫です



- ⑤ 便器を覆うようにかぶせます
※内側のビニール袋は、便座ではさめる大きさを
目安にセットしてください
(大き目のスーパー袋など)

※臭いが出るので厚手のビニールがいい



- ⑥ 便座を下ろして用を足します黒いゴミ袋の中に
・細かく切った新聞紙
・ポリマーシート
・ペット用トイレシート
などを入れておくか用を足した後に
・凝固剤

などを使用する方法もあります



- ⑦ 黒いポリ袋を取り出し、空気を抜いて口を強く
しばります



- ⑧ ふたのある容器に保管します
ごみ収集が始まったら燃えるゴミとして出します



Point

トイレトペーパーは十分な備蓄を
携帯トイレばかり気にせず、トイレトペーパーも気にして
避難所にも簡易トイレは数個ありますが、トイレトペーパー
はあまり見かけません
携帯トイレが100人分あれば、トイレトペーパーも100回
使用分備蓄しておきましょう